

おおた

太田 あつし 氏 (日本共産党)

質問11 上記1～10までの質問に関連して補足のご意見がありましたら、お聞かせください。

回答 ※記述のあった項目のみを掲載しています。

[質問1] 従来の保険証を復活させること

石破茂首相は健康保険証の廃止に「納得しない人がいっぱいあれば併用をすることも選択肢」と話していました。紙の保険証を残してという人はいっぱいいます。残すよう奮闘します。

[質問2] 社会保障費「自然増」の抑制をやめること

病院経営が「高齢化の伸びの範囲内に抑制」されるなか、物価の高騰で収入が抑えられ危機にあります。いますぐ「社会保障の『自然増』抑制を中止し、診療報酬の引き上げとともに、患者、利用者の負担につながらないよう公費を投入すべきです。

[質問3] 高額療養費制度の負担上限額引き上げを撤回すること

政府は、高額療養費上限額引き上げ方針を「見送り」しましたが、完全撤回すべきです。上限額引き上げは受診抑制になり、今でさえ厳しい上限額の負担が増える不安は解消されません。

[質問4] 国の制度として子どもの窓口負担を無料化すること

国が「異次元の子育て支援」というなら、18歳までの子どもの医療費を国の制度として完全無料にする、この程度の財政出動はあたりまえです。

[質問5] 診療報酬の大幅引き上げ

地域医療を守るため、国の責任で診療報酬を大幅に引き上げ、病院や歯科医院の経営を維持し、すべての医師、看護職員の処遇改善を図ります。

[質問6] 消費税の税率引き下げ、あるいは消費税廃止

消費税減税こそ最も効果的・合理的な物価対策です。消費税廃止を目指し、いますぐ5%への減税を行います。財源は赤字国債には頼らず、富裕層や大企業に応分の負担を求めて賄います。

[質問7] 保険医療への消費税に「ゼロ税率」を適用すること

医薬品や医療機器の仕入れなどにかかる消費税「損税」と呼ばれる消費税は、地域医療の経営を困難に落とし入れ、患者の命と健康を脅かしており、「ゼロ課税」を追求します。

[質問8] 再稼働・新增設および老朽原発の延命使用をやめて「原発ゼロ」の実現へすすむこと

原発新設や60年超の原発運転を可能にする方針は、いまなお苦しむ福島県民や、国

民多数の原発ゼロの願いを踏みにじるもので断固反対、撤回しかありません。

[質問9] 核兵器禁止条約の批准、少なくともオブザーバ参加すること

唯一の戦争被爆国が核兵器禁止条約をなぜ批准しないのか、オブザーバ参加しないのか、政府方針に反対します。いま、核兵器を持っている国が戦争を起こしています。核兵器廃絶は国際的な世論です。

[質問10] 膨張し続ける軍事費の拡大をやめること

8.7兆円もの軍事費がアメリカいなりにGDP比3%に拡大すれば17兆円にもなります。暮らしても財政も破綻させる軍事費の増大には断固反対します。

質問12 上記までの質問の事項に限らず、おもに医療・社会保障等についての貴台のご政見を自由に記述いただくとご回答も承ります。

回答

「紙の保険証を残せ、使い続けたい」という国民の願い、医療従事者の「診療報酬の引き上げ」、「地域の医療機関を守れ」との要求を支持し、その実現に全力を尽くします。